



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第14号 2003年 9月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0939
徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階
TEL 088-626-3237
FAX 088-611-7035
E-mail: dramer@nmt.ne.jp
発行責任者 山口 浩志

春風のように接し

水のように人心を満たす



理事長 山口 浩志

百戦百敗した後に数百年にわたって続く漢帝国を創始した男『劉邦』と「力は山を抜き気は世を蓋う」と謳われた勇者『項羽』との戦い。

最後の切り札は「人望」でした。

タイプは違うが、工場の中で工員と同じものを食べ同じ服装をして自らも油まみれになって働いてきた元経団連会頭の土光敏夫氏も、多くの人望をもち常に率先垂範してプロジェクトにあたり活躍されてきた方です。

さて、ますます迷走し続ける日本の経済ですが、私たちも含めた社会保障の問題や福祉の分野にも大きな影響を与えようとしております。一方、介護の現場は2年後・3年後より、昨日・今日・明日の生命を守り続けながら生きている世界です。今こそ大切な事は、ひとり一人が常に地域に目を向け「共に生きる」勇氣をもつことではないでしょうか。

そういった意味からも、私たち「どりーまあサービス」スタッフ一同は、今後も現場の汗を「宝」とし、NPO活動に懸命に力を注いで参りたいと思います。そのためにも多くの方々のご協力・ご支援をお願い申し上げます。



徳島県運営適正化委員会

事務局長 森 弘文

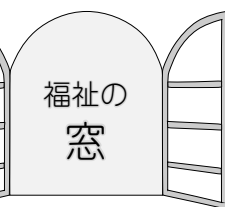
「契約」という言葉が福祉の世界でも使われるようになって、早、3年が過ぎました。

ここでは、福祉の分野の「契約」、サービス利用制度について、少し考えたいと思います。

例えば、私たちは、夕飯のメニューを考えて、スー

パーなどに買い物に行き自分の目でメニュー

に併せて食材を選んで、レジで、代金を払って



福祉の窓

買い物を済ませます。これは、「契約」を

意識して考えると、スーパーと私たちの間で対等な立場での売買「契約」です。

介護保険や福祉サービスが必要な人がサービスを選んで、利用する場合はどうでしょうか？

基本理念は、利用者の立場に立ったサービスの提供・利用者の自己決定といわれていますが、サービスを必要としている高齢者や障害者の方々は、スー

パーで食材を選んで買うように、自分が必要なサービスを自ら選んで「契約」することができでしょうか。このような、福祉サービスを必要としている

人を、地域福祉権利擁護事業、苦情解決事業や第三者評価事業などがサポートしています。対等に契約するために、

そして、契約後の対等性を保つための公的な事業です。

私たちは、福祉サービス以外においても「何かをしてもらっている」という意識が働

くときには、この「契約」の対等性を忘れがちになります。特に福祉サービスの利用者が無意識に契約時、契約後の対等性が保たれることが、今後重要なのではないのでしょうか。



いきいきサロンさらだ 社会福祉医療事業団

事業評価

平成14年度に社会福祉医療事業団様より『いきいきサロン
さらだ』に200万円の助成金をいただき1年間事業を行っ
てまいりました。

さる9月8日に、年間を通した活動内容についての事業評
価のヒアリングがありました。

ヒアリングには、基金事業評価委員である、みつぎ総合病
院の山口昇先生と事業団基金事業部振興第一課長の村松隆様
の2名がお越し下さり、『さらだ』の運営に関して貴重な
ご意見やアドバイスを頂戴しました。

講評

山口 昇先生

巡回型という新しい手法で、行政にはで
きない事をやっているのだから、こういっ
た活動を積極的にアピールし、行政や福祉
施設等ともっと連携をとっていつてほし
い。国が今後推し進めようとしている介護
予防の一環でもある地域ケア包括システム
にもあるように、今後は地域での連携が重
要なキーワードとなる。

また、コーディネーター業務を行う人材
の育成が必要である。最終的には利用者の
方に満足してもらえるようなサービス提供
が重要であるから、常に緊張感をもってそ
の責務に取り組んでほしい。

松村 隆様

いきいき推進委員（助成事業計画の中で
コーディネーター業務を行う立場の者）の活

動がキーポイント
でしょう。例えば
ボランティアさん
の募集をしたり活
動地域の幅を広げ
たりといった事が
より一層求められ
るのではないかと
思います。

また、企画的にも画一的にならないよ
う、計画性をもって事業運営にあたってい
たい。

※その他、松村様からは事業団への報告書
類についてのご指摘がありました。

◇ ◇ ◇

今回いただきましたご講評をしつかりと
受け止め、今後の私たちの活動指針として
取り組んでまいりたいと思います。ご指導
ありがとうございました。

山口 浩志



左から 松村 隆様、山口 昇先
生、原 孝仁先生（顧問会計士）、
山口浩志、佐伯明彦様（県社協）、
大串恭子様（県社協）



『巡回型デイサービスさらだ』 に携わって思うこと

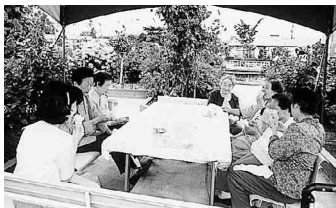
橋本 博美

「さらだ」のお手伝いをさせていただくように
なつて1年余り。

気の合う仲間同士の集まりに、私の方が加えても
らっているような老人パワーの結集に、いつも不思
議な感動を覚えます。暗いイメージになりがちな老
後という言葉など無縁で、前向きに考え行動し、明
るく笑顔と冗談を忘れないリーダーの前田さんを囲
んでのグループに、いつも私自身のこれからの生き方の指

針を教えられている気がするのです。

映画を見たり、季節の花を観賞した
り、ふれあい健康館で遊んだり、時には
講師をお招きして真剣に講義を受けたり
と、毎回の手作りデイサービスを企画し
ていますが、これからも「さらだ」の日
を心待ちにしてくれるよう頑張つて仲間
に入れて頂こうと思っています。



さらだとは

ネーミングの由来は、何でも
混ぜ合わせて、出来上がりは新
鮮でしかも誰からも親しまれ、
目立たないけど生活の片隅には
いつもなくてはならない心温ま
る存在であるように、との思い
から名づけました。

生きる

どリーまあサービスの援助を受けて

鳴門市 山口 一夫

秋季と申しますのに盛夏に逆戻りの毎日、ご一同様にはご苦労この上もなく皆様のご厚意と常日頃の温かいご支援に感謝いたしております。

親譲りの頑固一徹の私も、寄る歳波と病いには勝てず、福祉介護のお世話になる事早や5年を数えるに至り、その間諸所の事業所とのお付き合い、過去を思い反つてみますと、山あり谷あり：天候晴朗なれど波高し。贅沢を申し上げるわけではございませんが、人生の末期、当事業所に巡り会えて、幸福の一語。日本一の果報者としか言えません。

それでも代表はじめスタッフの皆様には悪口雑言の数々、よくぞ耐えての支援サービス。惚け老人の戯言とおぼし召しあつての事

と自分なりに勝手な解釈に満足している今日です。今後とも現在同様、支援介助を万事よろしくお願い申し上げます。

最後に貴社益々のご発展とご隆昌併せて職員並びにスタッフご一同様のご健勝と幸多からんことを祈念してやみません。

長月のひととき



寂寥の心を癒す 介護かな
寂寥の心知らずや 蟬時雨

山口作

現場レポート

家族のようなおつき合い

昨年の夏に入院していた病院を退院して以来かわらせていただいている三木さんです。時にはヘルパーさんの相談相手にもなっていたりして母親的な存在です。この日担当になっていた堀川さんですが、彼女は今年和歌山から徳島へ引っ越して来たばかりの新人、と思いきや、ヘルパー歴は8年のベテランです。でも、まだ慣れない徳島でのヘルパー活動です。彼女曰く「昔の経験が生かされたり新しい発見があったりです。」「言葉がなかなか慣れんのですワ！」と茶目つ氣たつぷりにコテコテ

三木久子さん♡ヘルパー堀川英里さん



の関西なまりで答えてくれました。もうじきなれるけん、がんばりいよ！」

昨年の秋頃、右手が動きにくくなり家事ができなくなったN・Yさん。「知り



～互いに励まし合っています～

合いが「どリーまあ」のサービスを受けていたんでそちらからの紹介で躊躇なく利用し始めました。」と目を細めて当時を思い出しながら話してくれま

N・Yさん♡ヘルパー浅野京子さん

一方ヘルパーの浅野さんですが、こちらもヘルパー歴約5年のキャリアをもちます。「この仕事をやり始め

には将来への自分のありかたをしつかりと見据えたような目の輝きがありました。持ち前の明るさで頑張りましたよーね！

活動報告

平成15年

- 4/12 いきいきサロン“さらだ”実施
4/18 事務局スタッフ研修
～仕事の受命と報告の仕方～
(於：どりーま Office)
権利擁護学習会 (於：総合福祉センター)
ヘルパーミーティング ～各ケースカンファレンス～
ヘルパー研修 (右欄参照)
5/8 ヘルパー養成講座 講義 (於：すみれ園)
5/9 同 上
5/13 同 上
5/22 徳島大学 「ボランティア論」 講義
5/24 ヘルパー研修 (右欄参照)
5/27 O氏 ケース検討会議 (於：徳島保健所)
6/2 法人理事会
6/5 徳島大学 「ボランティア論」 講義
6/17 介護支援専門員 認定調査研修会
(於：県教育会館)
6/20 権利擁護学習会 (於：総合福祉センター)
6/21 ヘルパーミーティング ～各ケースカンファレンス～
6/28 いきいきサロン“さらだ”実施
7/4 地域福祉計画シンポジウム打ち合わせ
(於：センチュリープラザ H.)
7/7～/8 福岡県 NPO 団体視察研修
7/11 地域福祉計画シンポジウム (於：県郷土文化会館)
(※シンポジストとして参加)
7/18 ヘルパーミーティング ～各ケースカンファレンス～
7/27 いきいきサロン“さらだ”実施
8/2 ヘルパー養成研修講義 (於：南オカモト)
8/9 同 上
8/16 ヘルパーミーティング ～各ケースカンファレンス～
ヘルパー研修 (右欄参照)
9/6 パーキンソン病患者会交流会参加 (於：岡山県)
9/8 いきいきサロン “さらだ” 事業評価
(社会福祉・医療事業団よりヒアリング調査)
9/12 介護保険セミナー (於：高松市)
9/13～/14 ケアマネジメント 研修会 (於：広島県)
9/17 渭北地区あじさい会 食事会
(於：ホテルルネッサンス)
9/18 権利擁護学習会 (於：総合福祉センター)

研 鑽

15年度 どりーま研修日程 ～スキルアップ講座～

平成15年

- 4月19日 記録と業務連携のあり方
講師：県看護協会訪問看護ステーション
川瀬のり子先生
5月24日 成年後見制度と権利擁護について
講師：県社会福祉協議会 森 弘文先生
6月21日 疾患の理解 ～医療セミナー～
講師：平 昭善先生
7月18日 傾聴について (その考え方と技法)
講師：NPO 法人徳島アルク代表
高松哲雄先生
8月16日 トランスファー (実技演習)
〈コムスン〉との合同研修
～移動介助の方法等～ (於：旭木工会館)
講師：川瀬のり子先生
8月27日 難病医療セミナー (於：伊月病院)
講師：西田善彦先生



- 9月20日 カウンセリング技法の基礎理解
講師：未定
10月18日 痴呆の理解 講師：川瀬のり子先生
11月22日 トランスファー (実技演習) 講師：未定
12月13日 感染予防(MRSA・疥癬・緑膿菌等)救急法の理解
講師：川瀬のり子先生

平成16年

- 1月17日 未定
2月21日 ターミナルケアの意義と理解
3月27日 事例研究発表



親切・丁寧に対応いたします

原公認会計士事務所

〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜395番地
T E L (088)686-5181
F A X (088)686-5183

この度新しく事務局スタッフが加わりましたので、紙面を通してご紹介させていただきます。

長澤 陽子さん
(主にコーディネート業務を担当いたします)
目下、福祉分野の資格取得の為に勉強中の向学心旺盛な明るい女性です。

事務局だより